

令和6年度 倫理審査委員会の審議課題一覧・審議内容

○委員会審議：令和6年5月14日

《審議内容》

申請者	脳神経内科医師	来海 壮志
課題名	【R5-19】流涎を呈する神経変性疾患患者に対するスポコラミン軟膏による唾液分泌抑制効果の検討	
概要	流涎のために日常生活に支障を来している筋委縮症側索硬化症等の神経変性疾患患者に、5%スポコラミン軟膏を両耳介後部乳様突起部に塗布することにより、唾液分泌の抑制効果があったと報告がなされている。当院でも流涎を呈する神経変性疾患患者を診療する機会は多く、その効果を検証する。	
判定	承認	